発行 青森県感染症情報センター(2016年11月4日) X RAPIDWeekly Report on Aomori Prefecture Infectious Disease

青森県感染症発生情報

(2016年第43週)

(青森県環境保健センター:担当 微生物部)

TEL 017-736-5411, FAX 017-736-5419

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/kansen.html

第43 週の発生動向 (2016/10/24~2016/10/30)

- 1. 流行性耳下腺炎については、むつ保健所管内で、注意報が発令されました。むつ保健所管内では、2016年に 入ってから患者報告数が最も多くなり、2度目の注意報発令となりました(最初の注意報は第 40 週)。
- 2. マイコプラズマ肺炎は、むつ保健所管内で、患者報告数の増加が続き、過去 10 年間で最も報告数が多くなり ました。冬に報告数がやや増加する傾向があるため、引き続き注意が必要です。

Ⅱ 第43週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

			東青		中南		三八	Ē	50000000000000000000000000000000000000	_	上北		下北			
			方保健所・ お保健所)	(弘前	i保健所)	(八戸	保健所)	(五所川	原保健所)	(上十	三保健所)	(t)-	つ保健所)	青森	県 計	前週から の増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ															0
	RSウイルス感染症	6	0. 75	10	1. 11	1	0. 10	15	3.00	3	0.50	2	0.50	37	0.88	-6
	咽頭結膜熱	3	0. 38	1	0.11	4	0.40	2	0.40					10	0. 24	4
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0. 50	11	1. 22	24	2. 40	2	0.40	1	0. 17	9	2. 25	51	1. 21	-17
	感染性胃腸炎	43	5. 38	20	2. 22	28	2. 80	3	0.60	2	0. 33	3	0. 75	99	2. 36	14
小	水痘							1	0. 20	1	0. 17	1	0. 25	3	0. 07	1
児	手足口病	1	0. 13	12	1. 33					5	0.83	1	0. 25	19	0. 45	7
科	伝染性紅斑	1	0. 13	1	0.11					1	0. 17			3	0. 07	0
	突発性発しん	2	0. 25	4	0.44	6	0.60	1	0. 20	2	0. 33	4	1.00	19	0. 45	3
	百日咳															-1
	ヘルパンギーナ	6	0. 75	4	0.44	5	0.50	4	0.80	4	0.67	3	0. 75	26	0. 62	-6
	流行性耳下腺炎	4	0.50					4	0.80	1	0. 17	21	5. 25	30	0. 71	14
眼	急性出血性結膜炎												, and the second second			0
科	流行性角結膜炎	2	1.00			2	1.00	2	2. 00	5	2. 50			11	1.00	1
	クラミジア肺炎															0
#	細菌性髄膜炎															0
基幹	マイコプラズマ肺炎											18	18.00	18	3. 00	0
軒	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

は警報、

は注意報。「空欄」: 患者報告無し

発作の窓

急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、

日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)

(五類全数把握疾患)

急性脳炎は、ウイルス、細菌、寄生虫など種々 の病原体による脳組織の炎症に起因する疾患 群の総称です。

病原体も多種であるので、症状も様々です。 一般的には、最初は発熱、頭痛などの非特異的 症状で始まることが多く、小児では 不機嫌、 腹部膨満、悪心、嘔吐などの症状も見られます。 その後、神経障害に起因する症状が急激に、あ るいはゆるやかに出現します。種々の程度の意 識障害、奇異行動、けいれんなど多彩な症状が 見られることもあります。

過去5年間、全国では、2013年に僅かに減少 したものの、増加傾向にあり、2015年に最も多 い 511 人の患者が報告されました (図)。青森



全国と青森県内の脳炎患者報告数 (2011年~2015年)

県においては、2014年に最も多く11人の患者が報告されましたが、2016年は第43週までに患 者が報告されていません。予防については、ワクチンがない疾患に対しては個々の病原体の感染 経路に応じた対策が必要となります。

○詳しくはこちらをご覧ください→国立感染症研究所(急性脳炎)

Ⅲ 全数把握疾患

・結核(二類全数把握疾患):東地方+青森市3人、八戸1人、五所川原2人

·細菌性赤痢(三類全数把握疾患): 八戸1人

・**腸管出血性大腸菌感染症**(三類全数把握疾患): 東地方+青森市1人 (2016 年計: 95 人)

・つつが虫病(四類全数把握疾患): 東地方+青森市2人

・アメーバ赤痢(五類全数把握疾患): 八戸1人

・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患):東地方+青森市1人 (2016年計: 14人)

IV 病原体検出情報

病原体検出情報はありませんでした。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2016 年第 40 週~2016 年第 43 週)

(人)

(2016年計:246人)

(2016年計: 2人)

(2016年計: 7人)

(2016年計: 4人)

週	期間	j	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北(むつ保健所)
40	H28.10.3 ~	H28.10.9	細菌性赤痢1人		カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌 感染症1人
41	H28.10.10 ~	H28.10.16		カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	梅毒1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人 梅毒1人	
42	H28.10.17 ~	H28.10.23	後天性免疫不全症 候群1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 カルバベネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症2人 梅毒1人			
43	H28.10.24 ~		腸管出血性大腸菌 感染症1人 つつが虫病2人 カルバベネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人		細菌性赤痢1人 アメーバ赤痢1人			

VI 結核(二類全数把握疾患) (2016 年第 40 週~2016 年第 43 週)

(人)

		東青	中南	三八	西北	上北	下北
週	期間	(東地方保健所· 青森市保健所)	(弘前保健所)	(八戸保健所)	(五所川原保健所)	(上十三保健所)	(むつ保健所)
40	H28.10.3 ~ H28.10.9		2	3			
41	H28.10.10 ~ H28.10.16	1	2	1		1	
42	H28.10.17 ~ H28.10.23	2		1	1	1	
43	H28.10.24 ~ H28.10.30	3		1	2		

VII 全数把握疾患発生状況 (全国−青森県) (注:発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週~第42週累計)

	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌感染 症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコック ス症	オウム病
累積報告数	19353	8	103	3147	50	15	319	238	18	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイ デス症	ジカウイル ス感染症	重症熱性血 小板減少症 候群	ダニ媒介脳 炎	チクングニア 熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
甲转起生物	7	2	0	50	- 1	10	101	300	226	0

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ 症	レプトスピラ 症	アメーバ赤 痢	ワイルス性	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	2	5	44	7	1289	65	930	232	1212	641

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポ リジウム症	クロイツフェ ルト・ヤコブ 病	劇症型溶血 性レンサ球 菌感染症	後天性免疫 不全症候群	ジアルジア 症	侵襲性イン フルエンザ 菌感染症		侵襲性肺炎 球菌感染症	水痘(入院 例)	梅毒
累積報告数	13	144	411	1176	56	249	38	2040	245	3597

 分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリ プトコックス 症	破傷風	バンコマイシ ン耐性腸球 菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性ア シネトバク タ一感染症
累積報告数	107	105	46	113	155	32

青森県 (2016年第1週~第43週累計)

1 5 9 14 18 22 27 31 35 40 44 48 (週)

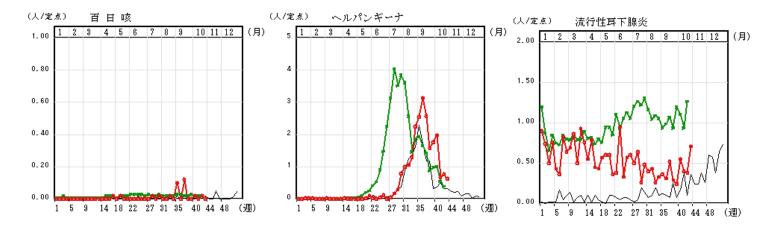
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血 性大腸菌感 染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ 症	アメーバ赤 痢	カルバペネ ム耐性腸内 細菌感染症
累積報告数	246	2	95	5	3	1	7	5	4	14
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	_	
疾病名	クリプトスポ リジウム症	クロイツフェ ルト・ヤコブ 病	劇症型溶血 性レンサ球 菌感染症	後天性免疫 不全症候群	侵襲性肺炎 球菌感染症	水痘(入院 例)	梅毒	破傷風		
累積報告数	1	3	3	3	8	3	18	1		

₩ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移(2016年第43週、ただし全国は前週) グラフの説明☞○──○は 2016 年青森県、──は 2015 年青森県、 ×---×は 2016 年全国 咽頭結膜熱 8 9 10 11 12 (月) 2.50 40 2.00 30 1.50 1.00 20 1.00 0.50 10 0.50 0.00 0.00 14 18 22 27 31 35 40 44 48 14 18 22 27 31 35 (人/定点) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (人/定点) 感染性胃腸炎 (人/定点) 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月) 10 11 12 (月) 10 11 12 (月) 4 5 6 4.00 10 2.00 1 3.50 3.00 1.50 2.50 2.00 1.00 1.00 0.50 0.50 14 18 22 27 31 35 40 44 48 (週) 40 44 48 (週) 27 31 35 40 44 48 (週) (人/定点) (人/定点) 伝染性紅斑 手足口病 (人/定点) 突発性発しん 10 11 12 (月) 2.00 1 10 11 12 (月) 10 11 12 (月) 20 15 1.50 0.60 10 1.00 5 0.50 0.20

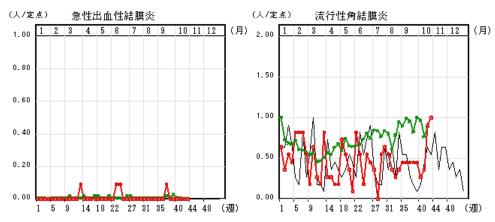
14 18 22 27 31 35 40 44 48 (週)

0.00

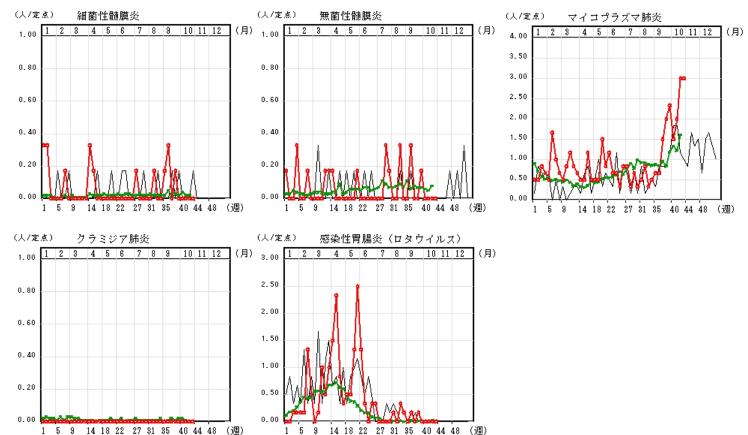
1 5 9 14 18 22 27 31 35 40 44 48 (週)



IX 眼科定点把握疾患週別推移(2016年第43週、ただし全国は前週)



X 基幹定点把握疾患週別推移(2016年第43週、ただし全国は前週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎(疑い含む)の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」(平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知)に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎(疑いを含む)の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成 28 年第 43 週 報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			10月			計
施設種別		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39週	40週	41週	42週	43週	(施設別)
介護•老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
月段"名八個仙民床心故 ————————————————————————————————————	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	172
旧音。婦人即係協設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
児童・婦人関係施設等	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	0	0	0	0	0	0	91
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
牌音舆	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ての他施設	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
크(BBI)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	16
計(月別)	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	0	0	0	0	0	0	308